



岡山市区づくり推進事業助成申込書
(地域活動部門)

平成30年1月11日

岡山市長 大 森 雅 夫 様

フリガナ オカヤマシキョウヤマテクイーエスディスイシンキョウギカイ

団体名 岡山市京山地区ESD推進協議会

所在地

連絡先

フリガナ

代表者氏名

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) ☒ ア 地域課題解決 ☐ イ 地域課題掘り起し ☐ ウ 地域計画づくり ☐ エ 地域課題解決型の地域組織づくり ☐ オ その他
事業名称	「やさしく走ろう京山」運動の推進
事業実施区域(小学校区)	伊島小学校区、津島小学校区
事業実施回数	新規 ・ ☒ 継続 4回目 (平成27年度から)
課題	地域住民の生活が安全・安心であることは最も大切なことのひとつである。京山地区ESD推進協議会では、ESDの視点から見た京山地区の特徴を取りあげて検討し努力している。その中で、京山地区の地域課題ランキングの第1位に「交通関係」(自転車のマナーが悪い等)が挙げられている。平成27年2月に開催した第10回京山地区ESDフェスティバル「地域の絆プロジェクト」の中でも、地域住民から「自転車マナー問題」に取り組む必要性が多数提出された。
事業の目的	岡山市北区京山地区における持続可能な地域づくりの目標4「障害者や高齢者も誰もが安心して暮らせる、安全で安心な住み良い地域をつくる」を達成するために立ち上げた岡山市京山地区ESD推進協議会「地域の絆プロジェクト」の取り組みとして、「やさしく走ろう京山」運動を継続展開し、「自転車マナー問題」の解決を目指す。また、「良い自転車マナー」の模範となる地域づくりを目指す。

事業の内容	・平成29年度デザインを一新した「やさしく走ろう京山」の啓発プレートが好評につき追加し、各種会合でも運動を広げ、地域の住民、児童、生徒、学生に配布する。 ・学区内にある高等学校、京山中学校、伊島・津島小学校へ「地域の願い」を届けるとともに「やさしく走ろう京山」運動の担い手を生徒・児童に広げていく。 ・隣接する御野学区、岡山大学・岡山市の自転車都市推進担当課などと協働の運動を行うとともに、「自転車先進都市おかやま」のモデル事業をめざす。 ・保育園、幼稚園、小学校の保護者への働きかけを強める。 ・地域の絆プロジェクトだよりを発行し、「やさしく走ろう京山」運動の啓発を促す。この運動を新聞・テレビなど地域のマスコミにアピールする。 ・企画委員会、第14回京山地区ESDフェスティバル「地域の絆プロジェクト」などで論議を深め、運動を広げていく。 ・伊島・津島学区交通安全対策協議会、交通安全母の会、安全安心ネットワーク、老人クラブなどとの連携を深め、交通安全週間、公民館文化祭、地域の各種行事にて取り組みを行っている。 ・引き続き「自転車マナー向上交通教室」を開催する。
期待される成果・目標	・「やさしく走ろう京山」を広げることによって、歩行者、自転車通行者、車両、誰もが安心して通行できる地域になることを成果目標としている。 ・啓発プレート「やさしく走ろう京山」の配布は平成29年度作成予定分を合わせると約2,000枚になる。このプレートが地域関係者の自転車に付けられることによって、地域住民の意識がますます向上し、自転車問題についての関心もより高まっていくことを成果目標としている。また京山地区ひいては岡山市の地域課題の解決が大きく進むことも成果目標としている。 ・成果の確認は、京山地区ESDフェスティバルなどで、アンケートや話し合いにて地域の方々に直接聞いて行う。
企画などの工夫	・伊島、津島学区の体育会、文化祭などで啓発プレートを配布しながら「やさしく走ろう京山」運動のアピールをする。 ・保育園、幼稚園、小学校の保護者への働きかけを強め、通園、通学が安全にできる学区をめざす担い手になるように運動を広げる。 ・啓発プレート「やさしく走ろう京山」の配布にとどまらず、「地域の絆プロジェクトだより」「ESDカフェ」「ESDフェスティバルでの地域の絆プロジェクト」等を通して、京山地区ESD協議会が掲げる【目指す地域像】に向けてさまざまな活動を企画・工夫をする。 ・隣接する御野学区、岡山大学・岡山市の自転車都市推進担当課など関係団体との懇談を強め、「自転車先進都市おかやま」をみずえた、協働の運動を行う。
協働する団体等	・御野学区各種団体 ・岡山大学 ・岡山市自転車都市推進担当課などの関係各課 ・京山中学校区各町内会 ・伊島・津島学区コミュニティ協議会 ・伊島・津島学区交通安全対策協議会

	・伊島・津島学区交通安全母の会 ・伊島・津島学区安全安心ネットワーク ・伊島・津島学区老人クラブ
事業の 情報公開	・「地域の絆プロジェクトだより」（年４回発行）を地域の全戸に配布（約１万世帯） ・京山地区ＥＳＤ推進協議会や京山地区地域安全パトロール隊等の参加団体への呼びかけ ・学区内の保育園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、大学との交流を深め、この運動を広めて行く。
学区地区への 広がり	・京山学区で取り組んでいる運動だが、他の地区へ広げる必要性から平成29年11月に「11.21自転車マナー向上協働行動」を実施することができた。岡山大学の学生が大勢通る岡大前に、隣接の御野学区、岡山大学教職員・学生、警察、市役所から60名近い方々が集まり、自転車マナーのチラシを配布した。このことは、新聞・テレビで報道された。この申請書提出後にこの行動の総括会議を開き各方面との協働行動のあり方を議論したいと考えている。「自転車先進都市おかやま」のモデル事業として、岡山市全体への働きかけをしていきたい。
前年度からの 見直し拡充点	・引き続き伊島・津島の小学校４年生の希望者、京山中学１年生の自転車通学生に啓発プレート配布する。 ・その装着について、小中学校のご協力も頂きながら、児童生徒の交通安全・自転車マナー意識の向上を強く訴えかけるとともに、プレートを装着する意義を訴えかける。 ・啓発プレートと合わせて作成したのぼりが大きな効果があったので、平成30年度ものぼりを作成し、その危険箇所を設置することにより地域の皆さんに意識していただき危険を回避する有効な手段にしていきたいと考えている。
次年度以降の 予定	①次年度以後の活動計画 ・地域住民、京山中学１年生への啓発プレート配布を積極的に進める。平成29年度から始めた地域の体育大会・文化祭などの行事での啓発プレート配布活動継続と広報活動に努める。 ・啓発プレートを小学４年生に希望配布することで、認知度を高めたい ・隣接学区、高校、大学への協働行動を呼びかける ・京山地区の中学生、高校生の自転車運転マナー向上のために呼びかけ強化 ・のぼり旗による「自転車マナー」向上の呼びかけ継続 ②資金の確保について ☒次年度も区づくり推進事業を申請する予定 ☐（ ）年後には、自己資金を確保して地域の独自展開をしていきたい。 なかなか困難な状況です。 ○資金確保の具体的な方策：引き続き参加団体に呼びかけていきます。
その他PRしたい 点	・この事業は継続実施の必要性があることは明らかである。平成30年度以降も啓発プレート「やさしく走ろう京山」の配布、「地域の絆プロジェクトだより」の発行を引き続き続けていく。 ・御野学区、岡山大学との交流を深め、運動を広げていく。 ・自転車マナー問題を話し合っていくなかで、参加者の意識がどんどん向上していき、あらゆる角度から安全面についても話が及ぶようになった。

事業スケジュール 随時、プレート配布

月日	活動内容
4月	京山地区E S D推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 交通安全週間 「自転車マナー向上協働行動」の実施
5月	京山地区E S D推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 伊島小学校、津島小学校 自転車教室、プレート配布
6月	京山地区E S D推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 「地域の絆プロジェクトだより」配布
7月	京山地区E S D推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 京山中学校へプレート配布 「自転車マナー向上協働行動」の実施 「やさしく走ろう京山運動」企画委員会
8月	京山地区E S D推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会
9月	京山地区E S D推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 「自転車マナー向上交通教室」開催 交通安全週間 「地域の絆プロジェクトだより」配布 伊島、津島学区体育大会で啓発プレート配布
10月	京山地区E S D推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 「自転車マナー向上協働行動」の実施 伊島、津島学区文化祭で啓発プレート配布
11月	京山地区E S D推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会
12月	京山地区E S D推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 「地域の絆プロジェクトだより」配布 「やさしく走ろう京山運動」企画委員会
1月	京山地区E S D推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 京山地区E S Dフェスティバル 「自転車マナー向上協働行動」の実施
2月	京山地区E S D推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会
3月	京山地区E S D推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 「地域の絆プロジェクトだより」配布

収 支 予 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	前年度決算	予 算	備 考
岡山市補助金	75, 000	75, 000	(100 円未満の端数切捨て)
実施団体負担金	39, 000	35, 000	岡山市京山地区 ESD 推進協議会
協賛金	40, 000	30, 000	交通対策協議会・安全安心ネットワーク等
寄付、他収入	0	10, 000	
計	154, 000	150, 000	

◆ 支 出

単位:円

項 目	前年度決算	予 算	備 考
消耗品費	152, 664	148, 000	啓発プレート・のぼりの作成 地域の絆だより・「やさしく走ろう京山」運動ちらし用紙代
通信費	1, 336	2, 000	企画委員会案内状郵送切手代
計	154, 000	150, 000	

◆ 概算交付の要否(いずれかに○をしてください)。(補助金額が20万円を超える場合のみ)

補助金の概算払いを	希望する	希望しない
-----------	------	-------

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください

注①：前年度決算額が確定してない場合は、見込み額を記入してください。

注②：支出の費目は、消耗品費・食糧費・印刷製本費・旅費交通費・通信運搬費・謝礼金・会場使用料・保険料など適当な費目に分けて記入し、備考に積算内訳を記載してください。

※記入欄に書ききれないときは、別紙として添付してください。